

2015年9月7日
全国労働金庫協会

ILO（国際労働機関）協同組合リーダー視察団の訪問を受けました

全国労働金庫協会は、2015年9月7日に《ILOコープアフリカ協同組合リーダー視察団》（ケニヤ、レソト王国、ルワンダ、ジンバブエの協同組合リーダー）の訪問を受けました。

今回の訪問は、日本生活協同組合連合会が毎年ILO（国際労働機関：国連の専門機関）の国際支援プロジェクトに協力し、アフリカの協同組合リーダーが、日本の協同組合について学ぶ機会を提供する視察の一環として、協同組織の福祉金融機関である〈ろうきん〉の運動と事業について学ぶプログラムが組みこまれたものです。

当協会において、〈ろうきん〉の創設、理念と歴史および現在展開している事業活動について説明したのち、質疑応答を行いました。



視察団のメンバーからは、ろうきんの創設時、どのように出資金を集めたのか、また現在の協同組織金融機関の法制度はどのようになっているのか等、様々な質問が出されました。

また、中央労働金庫のご協力のもと、中央労働金庫本店営業部を視察いただきました。